

このコーナーでは、農業のちよっとしたこつを、市の営農指導員からお知らせします。

### 営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

#### 野菜畑は冬場にしっかりと土づくり!!

野菜畑は多種類の野菜を高い頻度で作付けする場合がありますので、その土は相当過酷に使われていると見ていいでしょう。「地力」すなわち土地の生産力は大変消耗しやすいのです。

この地力を常に補い、増強し、野菜作りに適した性質に改良してやる必要があります。

#### (1) 野菜作りに適した土壌

- ① 水はけが良く、適度の空気を含んでいる
- ② 水持ち（保水力）がある
- ③ 土壌の酸度（pH）が適正
- ④ 病原菌や害虫がいない
- ⑤ 肥料分に富む

①～④は適切な耕起（畑起こし）と良質な堆肥の施用によって達成できるものです。⑤は施肥に頼ります。

#### (2) 耕起は冬が最適です

それは、越冬野菜やトンネル栽培物を除けば、この時期の野菜畑は冬休みで空き地が多く、耕せる面積割合が広いからです。それに加えて、掘り起こした土壌は厳しい寒気にさらすことによつて風化

され、病原菌や害虫、雑草などの密度を下げるができるからです。

#### (3) 耕起する方法

畑全体に、良質な堆肥（よく発酵しているもの）を10アール当たり2～3トン程度、石灰資材（苦土石灰）を10アール当たり150～200キロ程度散布して、20～30センチの深さに耕します。

耕起した後は、土の表面の凹凸をそのままにして、寒気や雨（雪）風にさらし、風化を促すようにしましょう。

#### (4) 冬場に堆肥を作りましょう

冬場に落ち葉、枯れ草、オガクズ牛糞などを積み上げて、良質な堆肥をできるだけたくさん作るように心掛けましょう。そして、春になったらこれを畑全面に散布し、もう一度耕起し、堆肥を土に混入しておきます。

#### (5) まとめ

冬場に、このような土づくりを心掛けていくと、土壌は次第に膨軟（柔らかい）となり、空気や水を適度を含み、余分な水分を排出します。したがって野菜の根は健全に育ち、良品多収ののりになります。基礎固めができます。

#### 問い合わせ

農業振興課 農業振興係  
0824・73・1132

## 第11話

# 比婆いざなみ街道物語



街道沿線に存在するさまざまな資源をシリーズでお伝えする「比婆いざなみ街道物語」。

今回は、比婆いざなみ街道の始点（終点）となる、東城町の「街道東城路」をご紹介します！

#### 歴史や文化を今に伝える 夢街道ルネサンス認定地区

比婆いざなみ街道の南東に位置する東城町は、岡山市へ向かう東城路の交差する場所にある城下町で、山間部の鉄や米、沿岸部の海産物や塩などの物資の集積地として、また宿場町として栄えた町です。

「往時の繁栄ぶりをしのばせる街並みににぎわいを」と、まちづくり団体が中心となり「何度でも訪れたくなるまち」を目指し、活動を続けています。この活動が認められ、平成21年度には、歴史や文化を今に伝える中国地方の街道として「夢街道ルネサンス認定地区」に「街道東城路」が認定されました。



#### 見どころが満載です！

街道東城路沿いには、県史跡「五品嶽城跡」や県天然記念物であり、川床の小礫が形作る「東城川の罅穴」などの文化財をはじめ、由緒

ある古い寺や神社、町屋が現代のまちなみに溶け込み、歴史的な建造物などの見どころがたくさんあります。

中でも、欄間や格子に特徴的な細工などが施された東城を代表する大規模町屋の「三粟荘（旧保澤家住宅 明治24年建築など）」や、当時としては珍しい西洋の教会建築様式を模し、アーチ窓など洋風の装飾などを備えた「ヤマモトロックマシ」（旧山本鉄工所・昭和9年建築など）はぜひ訪れたい場所です。どちらも往時をしのばせる貴重な建造物であり、国登録有形文化財です。

また、地域住民が主体となり、「東城まちなみ春まつり」「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」「お通り」など、四季折々に町並みを活用したイベントが開催されています。

#### お楽しみもいっぱい！

街道東城路周辺には、銘菓や地酒、酢などの老舗もあり、おいしいものがたくさんあり、お土産には困りません。また、古民家を改装した趣あるカフェでゆっくり過ごすのもおすすめです。

歴史や文化が残る美しい町並みを眺め、おいしいものを味わいながら「街道東城路」を散策してみませんか？

#### 問い合わせ

いちばんづくり課 いちばんづくり係  
0824・73・1278